

令和6年10月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和6年10月31日（木）午前10時00分～午後0時10分

2 場 所 市役所7階 研修室

3 出席者〔教育長〕中島秀行

〔委 員〕宮本陽子(教育長職務代理者)、寺本彰、森田理恵、北野大

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、中田利明学校教育部長、池田淳教育総務部次長、櫻井誠学校教育部次長、吉川誠学校教育担当参事兼学校教育課長兼健やか輝き支援室長、中村啓教育センター担当参事兼教育センター所長、鈴木健教育総務課長、北村史恵教育総務課主幹兼教育企画室長、市村浩昭教育施設課長、奥井祥三社会教育課長、三上佳明スポーツ振興課長、稲田里織文化財保護課長、川島一禎文化財保護課主幹、橋本浩志所沢図書館長、田中淳学校教育課主幹、刈谷和哉学校教育課主幹、渡辺純也保健給食課長、波多野健一教育センター主幹兼教育デジタル推進室長、高鍋英彦教育センター主幹兼副所長兼教育相談室長

〔書 記〕小城原光貴教育総務課副主幹、藤倉彩加教育総務課主事

4 会議録の承認

5 会議の傍聴者 2名

6 開 会 本日の議案は、議案第22号から議案第24号の3件。

なお、議案第22号及び23号については予算に関する審議のため、議案第24号については人事に関する審議のため、報告事項のうち、「所沢市教育功労者表彰被表彰者の取下げについて」は個人に関する情報が含まれるため及び意思決定過程の審議のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 報告事項

- 所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）
- 所沢市教育委員会の10月から1月までの主な行事予定について（教育総務課）
- 「所沢市議会一般質問要旨 令和6年第3回（9月）定例会」について
（教育総務課）
- 文書管理システムの稼働に伴う例規整備及び教育長の臨時代理について
（教育総務課）
- 第2回ところざわアスレチックフェスティバルについて（スポーツ振興課）
- 所沢市ゆかりのアスリート凱旋パレード・報告会について（スポーツ振興課）
- 所沢市民フェスティバルニュースポーツ体験コーナーについて（スポーツ振興課）
- 市民体力づくりところんウォーク2024について（スポーツ振興課）
- 第35回所沢シティマラソン大会の開催について（スポーツ振興課）
- 第25回所沢図書館まつりについて（所沢図書館）
- 全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査結果について
（教育センター）

以下、質疑

（寺本委員）

後援名義許可一覧の7番 KAWAYA プロジェクトはどのようなプロジェクトですか。

（奥井社会教育課長）

KAWAYA プロジェクト実行委員会は安全で清潔な公共のトイレの重要性を発信するとともに、地域住民の方のコミュニティスポットとしてマルシェや音楽のイベントを開催しています。

（宮本委員）

「全国学力・学習状況調査結果について」の10ページ「4 家庭・地域・社会とのかかわりに関する項目」にあるように、地域や社会を良くするために何かしてみたいと思うのは小中学生にとって自然の感情だと思います。コミュニティ・スクールもこれから本格的に始まるため、地域との連携や地域でできることに取り組んでいただき、地域の人と距離が近くなるように図っていただきたいと思います。

(中村教育センター担当参事)

この項目はコロナの時期に接触が制限されていたため、非常に低かったものですが、最近増加してきています。教育センターとしても、学校の教育課程がより地域社会に開かれたものとなるよう、この結果を周知してまいります。

(宮本委員)

コロナの時期に接触が制限されていたとのことですが、学力調査の対象になっている学年は低学年の時にコロナの影響を受けているため、伸びしろがあると信じて事業を行っていただきたいと思います。

(中村教育センター担当参事)

今年度の結果を分析する中で、様々な内容が改善されていることが分かりました。コロナ後の通常の教育活動が戻り定着してきていますが、コロナ前よりも、さらに、コミュニティ・スクールを含め、各学校の教育活動を充実させ、子どもの学力上昇につなげていきたいと考えています。

(北野委員)

「全国学力・学習状況調査結果について」の3ページで、全国・埼玉県・所沢市の平均値が載っていますが、平均値の差でのみ比べているのでしょうか。分布があるはずですが、t検定をして有意差検定をしなければ意味がないと思います。どこがこのデータを出しているのでしょうか。

(中村教育センター担当参事)

全国学力調査は文部科学省が所管しています。分析の詳細については詳しく申しあげることにはできません。

(北野委員)

点数の高い児童、低い児童が分布しているはずですが、平均値だけで全国平均よりも高いかを見るよりも有意差検定をしないと意味がありません。所沢市だけでできるかは分かりませんが、有意な差があるのか議論する必要があります。今後は県にも働きかけて有意差検定をしていただきたいです。また、3ページのグラフで全国平均は太めの線にするなどの配慮をしていただくと見やすくなると思います。

(中村教育センター担当参事)

国から県、市に送られている資料にはヒストグラム（度数分布）で、各学校、

教育委員会の分布が示されています。そのような形で正規分布なのかなど、分布を見て、教育委員会においては施策の検討、学校においては指導体制・指導方法等の検討を行っています。

(北野委員)

そのような視点からの分析も今後は検討していく必要があると思います。

(寺本委員)

「全国学力・学習状況調査結果について」の10ページにある「5 学習に対する意欲、理解等に関する項目」について、括弧内にあるパーセンテージは全国のもです。「⑫国語の授業の内容はよくわかりますか」「⑮数学の授業の内容はよくわかりますか」で全国よりも所沢市は低くなっています。一方4ページでは平均正答率は所沢市のほうが全国よりも高くなっています。授業の内容が分かりにくいと回答していて、平均正答率が高いのは整合性がないように感じます。年度内に中学3年生に何が分からないのか、項目を立てて聞いてみてはいかがでしょうか。それによって具体的な対策を出す必要があります。全国より正答率が高いと安心していると、教員も努力せず生徒の伸びも停滞してしまうので、しっかり調査していただきたいです。

(中村教育センター担当参事)

ご指摘のとおり、学習内容が分かることが重要なことだと思います。児童生徒が何を理解して、何を理解できていないのか把握することは、大変重要であると考えます。

(宮本委員)

「全国学力・学習状況調査結果について」の9ページにある「2 人としての考え方にに関する項目」「④自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」が低いのは、どのような影響からでしょうか。授業が正解を求めていくものになれば、「違う」とは「間違い」や自己肯定感の低下になると思います。広い面で影響していることを考えていただくと良いと思います。間違っただけで答えにたどり着かないとネガティブになる傾向があるため、盛り立てていける方策があれば良いと思います。

(中村教育センター担当参事)

ご指摘のとおり、教育センターとしても④が気になってはいます。授業で正解

を出さなければいけない、間違ったことを言うてはいけないという意識が子どもたちの中にあると、自由で活発な意見が出ません。学校の授業において「正解は一つではない」ことなどを取り上げて、「考え方は一つではない」「それぞれの考え方には文脈や価値がある」と認識させる授業を展開していく必要があると考えています。

●所沢市教育功労者表彰被表彰者の取下げについて（教育総務課）【非公開】

《削除》

8 議題

●議案第22号 令和6年度教育委員会予算（12月補正）について【非公開】

《削除》

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

●議案第23号 令和7年度教育委員会当初予算について【非公開】

《削除》

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

●議案第24号 教育委員会職員の人事について【非公開】

《削除》

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

9 その他

今後の日程

- ・教育委員会会議11月定例会：11月19日（火）
- ・教育委員会会議12月定例会：12月25日（水）

10 閉会 午後0時10分